

魅力ある 微生物の世界



微生物が地球上に現れたのは、今から約35億年前、人間は約700万年前と
言われているので、我々の祖先よりはるか昔から地球に住んでいます。
最初は微生物に攻撃されていた我々も、常在細菌のようにとともに暮らすよう
になり、そしてアルコール発酵や乳酸発酵のように、現在では多大な恩恵にあず
かっています。また、微生物は環境浄化に大きな貢献をしています。その代表
的な微生物はきのこです。これら魅力ある微生物の世界に、皆さんをお連れし
ます。

- 開催日時 令和4年5月21日、6月25日、7月16日、8月20日（土）
13:00～14:30
- 会場 県立広島大学 広島キャンパス
※詳細については、申込受付後にお送りする、受講案内でお知らせいたします。
- 講師 県立広島大学 学長 森永 力
- 対象者 どなたでも（高校生も含む）
- 定員 対面：60名、オンライン：90名 **※好評につき追加募集します。**
- 受講料 無料
- 開講方法 対面・リアルタイム配信（Zoom）
- 申込方法 QRコードまたはURL先の内容・受講条件を確認し、「申込フォー
ム」に入力してください。

URL：[https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/
kouza20220521.html](https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/kouza20220521.html)

QRコード：



申込締切日：各回毎に申込可能です。
講座開講日の7日前を締切とします。
※例、第4回8月20日であれば8月13日が締切

※申込締切日以降に、メールで受講案内をお送りします。パソコンからのメール（アカウント@pu-hiroshima.ac.jp）
を受け取れるよう設定しておいてください。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

※新型コロナウイルスの感染状況により、開講方法が変更となる可能性があります。

テーマ・講師・内容		
5月21日 (土) 13:00 ~ 14:30	キノコの世界	県立広島大学 学長 森永 力
	きのこは山の掃除人と言われるように、山の維持管理には欠かせない微生物です。きのこの仲間には、マツタケのように生きた植物の根と共生しているものや、朽木のように死んだものに生育するものがあります。日本では、約3,000種類のきのこが図鑑に載っていますが、いろいろなきのこをスライドを使って、その生理や生態について解説します。	
6月25日 (土) 13:00 ~ 14:30	マツタケの世界	県立広島大学 学長 森永 力
	きのこの王様は、なんといってもマツタケでしょう。マツタケはご存じのように、生きた松の根と共生しています。マツタケは今年も不作でした。奈良時代には、マツタケは貴重なものとして朝廷に献上したと万葉集に書かれています。演者の子供頃には、飽きるほど食した思い出があります。演者が40年にわたり研究してきた結果をお話します。	
7月16日 (土) 13:00 ~ 14:30	発酵食品の世界	県立広島大学 学長 森永 力
	世界で一番硬い食べ物はなんのでしょうか。それは鰹節です。鰹節はカビの力で水分を取り除いた立派な発酵食品の一つです。いろいろな発酵食品を作るうえでの、微生物の働きについて、解説したいと思っています。欧米に比べてコロナ感染者数が東南アジアで少ないのは、東南アジアの人々は様々な発酵食品を食べているからだという人もいます。	
8月20日 (土) 13:00 ~ 14:30	環境浄化と微生物	県立広島大学 学長 森永 力
	約45億年前に地球が誕生しましたが、その頃の地球は、活発な火山活動によりCO ₂ やメタンガスに覆われていました。その地球が今日のように、人間をはじめとする動植物が棲めるようにしたのは、35億年前に出てきたシアノバクテリアやそれ以降の細菌などの微生物です。これまでの環境浄化に多大な貢献をしてきた微生物の役割について解説します。	

申込・受講にあたってのお願い

- 申込締切後、メールで受講料振込案内・受講案内をお送りします。
必ず、パソコンからのメール (@pu-hiroshima.ac.jp) を受信できるようにしておいてください。また、添付ファイル付きのメールを受信拒否しないようにしてください。
- 受講案内を受け取ったら、受取確認のメールを返信してください。申込締切後に受講案内が届かない場合は、お問い合わせください。